

令和5年度楠栖保育所事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 80名

(2) 年齢別・月別入所児童数(各初日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	3	3	4	4	5	7	7	8	8	8	7	7	71
1～2歳児	19	20	20	20	21	22	21	21	21	21	21	21	248
3歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
4歳児以上	24	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	287
計	54	54	56	56	58	61	60	61	61	61	60	60	702

(3) 職員数 令和5年度初 20名 令和5年度末 20名

(4) 職員の異動等

①採用

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考

②異動

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R5.4.1	保育士			保育士資格	配置増←佐々神田
R6.3.31	保育士			保育士資格	配置減→佐々神田

③退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R5.9.30	入所児童処遇特別加算				一身上の都合により

(5) 職員会議の開催状況

- ・職員会議は毎月2回以上開催し、保育に支障のない範囲で職員が参加し、職員全員が共通認識を持ち、各クラスの様子やの保育の内容の確認、気づき、行事等の打ち合わせ、反省を行い、今後の課題を話し合った。また、毎日ミーティングを行い保護者からの意見や問い合わせがあったときは迅速な対応を行うようにした。
- ・新聞やメディア等で幼児に関する記事についても、意見の交換をし、確認を取り合った。不適切保育については、職員同士の気づきや意見を言いやすい環境づくりと、再度セルフチェックの確認を行う。
- ・給食内容検討会は月1回開催し、月の献立、各クラスの嗜好や喫食状況を報告し合い、咀嚼が苦手な子、嚥下が上手に出来ない子の対応を検討した。食事のマナーに関しても箸の持ち方、姿勢など年齢別に指導の仕方を話し合った。
- ・全ての会議は記録を取り、全職員に周知した。

2 保育の実施状況

「命を大切に」の理念を柱に保育課程、年齢別年間指導計画を立て月、週、個別の指導計画に基づき、漢字保育をはじめとする様々な活動や遊びを展開し、メリハリのある保育を心掛けた。

子どもの健康状態を把握するための健康カードの配布、保育中の体温計測、玄関入り口のアルコール消毒設置、クローラ水を使用しての手指や玩具、施設内の消毒等は感染症対策として引き続き行っている。運動会、お遊戯会などの保護者参観は入場の制限を行わずに祖父母や沢山の親戚の方にも声出しや声援で参加を促して盛り上がった。また、昨年に引き続き一日保育参観を行い、全園児の保護者と職員が話し合いながらともに

保育を行う環境作りが出来たようだ。

食育においては、竹林の筍の皮むき、園庭での野菜作りを行った。畑作り、肥料を土に混ぜることから行い、水やりをしながら野菜の成長の観察をし、収穫した野菜は給食室で調理をお願いし給食に出してもらった。野菜が苦手な子ども自分たちが作った野菜は嫌がらずに食べることが出来た。また、年長児には調理の体験として、おにぎりや野菜のカット、後半はおやつ作りなどの体験を行った。子どもたちがたくさん体験をし、「食をいただく」ことの大切さや見分を広められるように取り組んだ。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数(月・週指導回数)	委託先名
幼児体育指導		毎週金曜日午前10時より 年間19回	いむら体育教室
漢字保育指導		年7回 午前9時30分より 年間	登龍館
英語あそび指導		毎週火曜日午前10時より 年間35回	ECC

4 年間行事の実施状況

実施年月日	行事	実施年月日	行事
R3.4.3	入所式・進級式	4.13	誕生会(4月)
4.19	交通安全教室	4.20	バスハイク
4.22	親子遠足	4.26	バスハイク
4.28	防災訓練		
5.12	バスハイク	5.17	佐世保市美しかプロジェクト花植え
5.18	バスハイク	5.22	内科健診
5.24	防災訓練	5.26	誕生会(5月)
5.31	尿検査		
6.2	歯科健診	6.8	防犯訓練
6.9	芋差し遠足	6.21	カレークッキング
6.22	誕生会(6月)	6.23	防災訓練
7.7	七夕会	7.12	誕生会(7月)
7.19	交通安全教室	7.21	防災訓練
7.28	夏祭りごっこ		
8.18	防犯訓練	8.24	誕生会(8月)
8.30	防災訓練		
9.6	誕生会(9月)	9.14	防災訓練
9.20	運動会総練習	9.30	運動会
10.4	バスハイク	10.12	誕生会(10月)
10.17	内科健診	10.18	尿検査
10.19	防災訓練	10.20	施設慰問
10.23	バスハイク	10.26	楠栖小学校5年生交流
11.2	芋ほり遠足	11.8	施設慰問
11.9	誕生会(11月)	11.12	小佐々地区文化祭参加
11.16	施設慰問	11.22	防災訓練
11.29	お遊戯会総練習		

12.9	お遊戯会	12.13	大根引き
12.14	誕生会（12月）	12.14	誕生会（12月）
12.15	総合防災訓練	12.15	総合防災訓練
12.22	クリスマス会	12.25	年末挨拶回りカレンダー配り
1.16	防災訓練	1.18	卒園写真撮影 誕生会（1月）
2.1	カルタ大会	2.2	節分会 恵方巻
2.7	薔薇組保育参観	2.8	小佐々小学校学校体験
2.9	バスハイク	2.13	菫組保育参観
2.14	防災訓練・交通安全教室	2.15	凧揚げ大会 おやつクッキング
2.16	美しかプロジェクト表彰式	2.20	桃組保育参観
2.21	誕生会（2月）	2.22	防犯訓練
2.26	楠栖小学校交流会	2.27	小佐々小学校交流会
2.28	就学前交通安全教室バスハイク	2.29	マラソン大会
3.1	雛祭り誕生会（3月）	3.5	蒲公英組保育参観
3.7	マラソン大会	3.8	カレークッキング
3.13	お別れレクリエーション・バイキング	3.16	卒園式
3.19	最西端ハイク バスハイク	3.22	おやつクッキング
3.26	縄跳び大会	3.29	小佐々中ブラスバンド演奏会
3.27	防災訓練		

5 職務分担表(令和5年度最終版)

職名及び氏名	職務内容	
所長 田島 順子 苦情解決責任者	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事・労務・施設・防火) 3 保育業務の管理(保育課程の作成) 4 財務管理	5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関、保護者会等との連携及び地域活動 7 苦情解決責任者 8 保育所事務一般に
主任保育士 苦情受付責任者	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育課程の作成及び保育内容の指導助言 4 園内研修の企画及び指導 5 園行事に関する計画及び指導	6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する助言指導 8 職員会議の計画と実施 9 小学校との連携 10 苦情受付責任者
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録 4 園児の健康と安全管理	5 調理員との連携 6 保護者との連絡及び指導 7 園だよりの作成
保育士	*桜組の担任	
保育士	*百合組の担任	
保育士	*堇組の担任	
保育士	*薔薇組の担任	
保育士	*桃組の担任	
保育士 看護師	*蒲公英組の担任	
保育士	1 園舎内外の掃除点検	
保育士	1 共通遊具の整理、保存	
保育士	1 保育材料に関すること 2 備品物品に関すること	3 図書管理
保育士	1 交通安全に関すること	
保育士	1 避難訓練に関すること	
看護師	1 保健衛生に関すること 2 医薬品の整備・保管 3 検便に関すること	4 健康診断及び歯科検診、尿検査に関すること
保育士 (衛生推進者)	1 衛生推進に関すること	
保育士 (食育担当者)	1 食育に関すること	
保育士	1 延長保育事業に関すること	
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発注・検収 2 給食人員の把握 3 調理・配膳	4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の検診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備状況

(1) 施設の改築・修繕（100万以上）

年月	工事名	金額（円）

(2) 固定資産物品（10万以上）の購入

年月	物品名	金額（円）
R5 6/26	ホシザキ縦型冷蔵庫	238,587
R5 7/20	コニカミノルタ bizhub c250is カラー複合機	700,000
R6 1/17	ハイハイの丘（遊具）	150,000
R6 1/17	OTOMORI（遊具）	130,000

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

保育の質の向上を図るため、自らの行う保育について常に子どもの視点に立って自己評価を年2回に分けて行なう。年度末には自己評価をもとに所長と職員の個人面談を行い、一年を振り返り、反省を踏まえ、次年度の目標を立てるようにした。

また、各自で保育のセルフチェックを行い、チェック後は話し合いを行い、不適切保育の対策を行った。

(2) 保育所における自己点検、自己評価

クラスで評価し、最終的に施設長の責務のもと保育所全体への点検・評価につなげた。

評価の結果をふまえ、当保育所の保育の内容の改善を図り令和6年度の全体的な計画に反映した。

園全体の評価を4段階で表した。外部への公表も行い当所の現状及び改善点から明らかになり、来年度の保育の向上につなげた。

8 職員の研修参加状況

希望をとって、出来る限りの研修に参加した。

研修後は研修報告を行い、全職員に内容を共有するようにした。福祉法人内の公開保育研修も再開され保育に無理がない時には出来る限り参加した。

年月日	研修会名	参加者名
4/22	うんとこどっこい運動会	
6/1	長崎県保育協会 食育研修	
6/29	長崎県保育協会 施設長研修会	
8/25	長崎県保育協会 保育士部会	
8/30	長崎県保育協会 保育研修会	
9/6	長崎県保育協会 女性部会研修会	
9/12	長崎県保育協会 主任・主幹研修	
10/13	調理従事者等研修会 調理員	
10/18	長崎県保育協会 保健研修会	
10/27	佐世保市保育会 気になる子	
10/28	給食担当者研修会	
2/28	佐世保市保育会 アンガーマネージメント	

キャリアアップ研修

1/4～2/16	食育・アレルギー対応 eラーニング	
1/4～2/16	保健衛生・安全対策 eラーニング	
1/4～2/16	障害児保育 eラーニング	
1/4～2/16	マネジメント eラーニング	
1/4～2/16	乳児保育 eラーニング	
1/4～2/16	幼児保育 eラーニング	
1/4～2/16	食育・アレルギー対策 eラーニング	
1/4～2/16	保健衛生・安全対策 eラーニング	
1/4～2/16	保護者支援・子育て支援 eラーニング	
1/29～2/7	保護者支援・子育て支援 個別研修 DVD	
2/2～2/3	障害児保育 集合研修 DVD	

針尾福祉会主催の研修実施状況 園内保育

6/25	佐々神田保育園	全職員
6/27	佐々神田保育園	4歳児
7/26	針尾保育園	5歳児
8/29	日宇保育園	3歳児
9/7	ルンビニ保育園	0歳児
10/16	楠栖保育所	2歳児
11/9	佐々神田保育園	1歳児

漢字保育所内研修 年 7回

4/28 6/1 7/6 8/4 10/13 1/12 2/8

9 苦情処理受付状況

意見・要望・苦情・不満 受付件数 3件

・近所の方から、保育所から降りてきた車が道路に出る際に一旦停止なしで出てきているので危ない。注意してほしい。

→園だより、掲示板で保護者、職員が周知するように努めた。

・園でケガをしたが、ちゃんとした説明がなかった。

嘸みつき：お父様に伝えたが状況がよく伝わっていなかった。

ケガ：お迎えが叔母様だったために、詳しく説明がなかった。

→お迎えが通常と異なる人物の場合は、電話で必ず状態を知らせること、小さな傷でも、お迎えに来られた方と親に知らせることを周知した。

また、朝、子どもを預かる時には、視診で確認できる傷は、必ず保護者にその場で確認するように再度周知した。

保育園（所）における自己点検・自己評価

（園名 楠栖保育所 ）

・ A、B、C、Dの4段階評価

- A：大変良い
 B：良い
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた全体的な計画を設定しているか。		○			地域の状況や保護者と関わる保育所の実態に照らし合わせ前年度の反省と話し合いを行い、全体的な計画を作成した。広い園庭を活用し子どもたちが元気に遊べる環境を生かした保育に努め、さらに体力向上に努めた。 保育目標は全職員で検討し、共通理解を深めていくように努めた。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			各クラス、月齢や実態に即した指導計画を作成する様に努めた。 個々の子どもの個性を尊重しながら見通しが出来る保育を心がけ、安心して通えるよう、また安心して預けられる場となるような環境づくりを行った。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			子どもと規則正しい生活リズムを作り、心地よい場であるように努めた。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			年間計画を立てて進めた。 外の活動を増やし、感染対策はもちろん、体力増進、健康な体づくりを行った。 天候や季節に合わせた行事作りに留意した。 活動後は反省、注意点などを話し合い、今後に生かせるようにした。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		職務分担表で職員の職務内容を明確に、シフト表を早く掲示し職員の配置、役割がわかりやすい体制づくりに努めた。 職員配置は本人の希望も配慮しながら行った。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		職員会議を定期的にまた、必要に応じて開催し、会議内容を明確にすることにより問題提起、情報共有を全職員で行った。全職員が関わることで、問題の改善、全員周知につながった。また、毎日ミーティングを行い保護者の意見要望に迅速に対応するようにした。	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年 齢 ・ 組 織	ク ラ ス	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか。		○		年齢別、クラス目標は子どもの遊びや生活を通して、乳幼児の実態に即して設定した。週案、日案等で目標、ねらいに即しているか確認した。 各クラスが同じ目標に向かうように共同理解を深めるようにしたが、とらえ方の違いが見られることもあり、さらなる努力が必用だと感じた。 同年齢、異年齢の関わりは行事や活動の中で出来る時に行い、核家族が多くなる中、異年齢をいたわり手助けをする大切さを学べた。 諸記録、資料等は回覧し、すぐに確認できる場所に集積した。
			(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		
			(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○		
			(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		経 営	(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行なっているか。		○		
			(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○		
	保 健 ・ 安 全 指 導	指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		訓練・指導を年間計画に基づき適切に実施することが出来た。 日々の健康管理、内科健診(年2回) 歯科健診、尿検査(3歳以上)を行い、園児の健康管理に努めた。 交通安全指導は年3回行い、無理のない年齢から参加して楽しんだ。 家庭・関係機関との連携は行っている。
			(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。(コロナの状況で1回のみ)	○			
			(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
			(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		
	研 修	所 内 研 修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		園内外の研修には出来るだけ参加をし、職員会議で報告するばを設けた。それぞれが参加した研修が日々の成果に生かせるようにした。
			(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○		
			(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		
(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。				○			
所 外 研 修		(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		Web研修が多かったが、時間を考慮しながら参加した。研修内容は他の職員に報告し共通理解に努めた。	
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	○				個人情報保護法に関して全職員で共通理解の下、慎重かつ適切に取り扱いを行った。 公文書、各諸表は適切に行っていた。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				遊具点検等の点検は専門業者による年1回の定期点検や職員による週1回の安全点検を行う事で適切な管理や使用を行った。 不備な遊具は専門職員に迅速に修理してもらった。 玄関は防犯カメラ付のオートロック仕様で来所者の確認をして園内から解錠する仕組みになっている。 防犯訓練を行い、専門業者による警備等の安全対策も行った。 必要に応じて情報提供の掲示を行った。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				適正な処理が出来た。
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○		保養小連携は年度初めに計画を立て、指導者同士で話し合いを行いながら、計画を進めた。参観日、行事に参加することにより、卒園後の・子どもたちの様子を知ることが出来、今後の保育の参考になった。また、幼児、児童が親しくなることにより、安心した就学に進めることが出来た。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○	
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○	
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。		○		1日保育参観を行い、子どもたちの保育所での様子保育所の実態を見てもらうことで保護者と職員が共通の理解を持つことにつながった。 地域文化祭に、文化・演芸両面で参加した。施設訪問も行い各施設から喜ばれた。今後に繋げたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○	
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所	子育て （１）地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	子育て相談は随時応じるように事務所にて行った。要支援の園児、保護者には専門機関を紹介し必要な情報の提供を行った。 遊ぶ場の提供は出来なかったが、一時保育を実施し、地域の子育て相談を行った。異文化の交流にもつながり園内の在園児に良い影響を与えている。
	支 援 の 推 進 （２）職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	（３）医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
づ く り 評 価	情報 の 発 信 （１）保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				園だより・給食、保健だよりは毎月配布している。月初めにホームページで行事予定や情報を発信している。
外 部 評 価	（１）第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	保護者からの意見など可能な限り保育運営に反映し、園だより、ホームページにて公開した。
	（２）保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			内容は職員会議で周知し、検討して保育に繋げた。